



いのち 地球の生命を守り、 みどりの地球をみどりのままで 子どもたちに手渡すために グリーンコープ運動を前進させましょう



2022年6月15日、グリーンコープ共同体第五期定時社員総会が開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場とオンラインでのハイブリッド開催となりました。審議の結果、すべての議案が賛成多数で承認・可決されました。質疑応答では、第一号議案について代議員から意見が出され、今後引き続き検討していくこととなりました。質疑応答の様子については、次号以降で報告します。

総会では、地球温暖化による気候危機が叫ばれる中、グリーンコープ運動の集大成として「2027カーボンニュートラル」に取り組み、グリーンコープ運動をさらに前進させていくことになりました。

代表理事を6年間務めた熊野千恵美さんが、2021年度をもって退任され、新代表理事にグリーンコープ生協みやざきの日高容子さんが選出されました。

共生の時代

みどりの地球を
みどりのままで

2022 7 月

発行：一般社団法人グリーンコープ共同体理事会
編集：共生の時代・編集部
〒812-8561
福岡市博多区博多駅前一丁目5番1号
博多大博通ビルディング3階
TEL 092 (481) 7923
FAX 092 (481) 7876
<https://www.greencoop.or.jp/>

Contents

一般社団法人 グリーンコープ共同体 第五期定時社員総会報告	2・3・4・5・6
一般社団法人 グリーンコープ福祉活動 組合員基金連合会 第四期社員総会報告	7
一般社団法人 グリーンコープ子ども基金 第二期社員総会報告	
ATPF会長ノルマさんとの交流会 ゼンさんからのレターvol.15	8
別紙にて、「放射能汚染と向きあう(放射能測定室より)」を掲載	

組合員活動報告

コロナ禍にも屈しない熱い思いで 様々な組合員活動に取り組みました



一般社団法人
グリーンコープ共同体
代表理事
日高 容子さん

新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、この2年間の組合員活動はオンラインを活用し、学習会や講演会、視察交流にいたるまで、自宅から参加できるメリットを活かして多くの組合員が取り組みに参加することができています。

「南と北」の共生の取り組みで連帯を深めています

ネグロスバナナ産地の近くにある大資本によるバナナの大プランテーションで、農業の空中散布が行われている実態を知り、そのことを伝えるために、農業を使わずに育てたネグロスバナナの予約に取り組みました。チラシやポスターに組合員の思いを託し、たくさんご予約注文をいただくことができました。また、「農業空中散布禁止条例

来賓挨拶



グリーンクラブ会長
中尾 好伸さん
※グリーンコープ
納入業者の会

7月でグリーンクラブの会長を退任することになりました。この10年間で一番印象的だったのは、第二次「夢ヲかたちに」の提案でした。グリーンコープの夢は、そこに集う一人ひとりの夢であり、グリーンコープはみんなの夢が集

まったところだと思いません。私にも、ささやかな夢があります。「夢ヲかたちに」を目の当たりにして、グリーンコープに夢を寄せれば私の夢も叶うかもしれないと思いました。グリーンコープには、みんなの夢を叶えるために、連帯することや共同することの大切さを教えていただきました。今後もしっかりとグリーンコープであることを心より祈念いたします。

新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、この2年間の組合員活動はオンラインを活用し、学習会や講演会、視察交流にいたるまで、自宅から参加できるメリットを活かして多くの組合員が取り組みに参加することができています。

「南と北」の共生の取り組みで連帯を深めています

託送料金に関する訴訟は、現在第七期日まで終了しています。生命を何よりも大切に、子どもたちの未来を守りたいという母親たちの願いが託されているこの裁判は、これからも続きます。

福島民友新聞社の裁判は、最高裁判所まで審議が続き、2022年5月に福島民友新聞社からの上告が棄却され、グリーンコープの勝訴が確定しました。これによってグリーンコープ生協とグリーンコープの組合員の名誉は守られました。

ゲノム編集や遺伝子組み換え技術に反対しています

ゲノム編集食品や遺伝子組み換え作物の種子や苗には表示の義務がなく、知らないうちに栽培したり、食べてしまうという懸念があります。関係する団体との連携を深めながら、種苗への遺伝子操

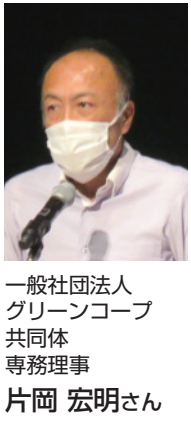
作の表示を求める署名に取り組みました。

人と人とのつながりを大切に活動していきます

気候危機については、「2027カーボンニュートラル」の取り組みをすすめる、組合員ができることを頑張っていきたいと思えます。

地域の組合員に直接出会える機会が減り、活動組合員を増やすことが難しくなっていますが、人と人とのつながりを大切にして、これからも元気にグリーンコープの活動をすすめていきます。





2021年度 基調総括 (要旨)

みどりの地球をみどりのまま子どもたちに手渡す未来の創造のために、生命(いのち)を守るグリーンコープ運動の集大成として「2027カーボンニュートラル」を推進し、「平和」「食べもの」「地域福祉」「環境・農業」の取り組みをさらに前進させよう。

平和は全ての基礎であり、戦争は絶対に許すことは出来ません。

第二次世界大戦以降、77年間、日本では戦争が起きていません。しかし残念ながら、世界では多くの戦争が起きています。そして今、ロシアがウクライナに軍事進攻することによって戦争となっています。

人が人の生命(いのち)を奪うことは許されませんが、国家は戦争によって多くの人の生命(いのち)を奪うことを堂々と行います。人であればしてはならないこと、出来ないことを国家は行います。国家は人間にとって必要で大切なものですが、一方で、国家とは恐ろしいものでもあります。人間が国家や組織に縛られず、人間らしさを基盤に生きて、考えて、行動し、たいと考えています。

地球上の全ての生命の危機として、地球の温暖化と気候の変動を留め改善するための運動を、喫緊に最大限に取り組みます。

2018年8月20日、グレタ・トゥーンベリさん

「排出を削減し、地球温暖化を押しとどめ、気候変動をなくしていき、みどりの地球をみどりのまま子どもたちに引き継ぐことになげます。」

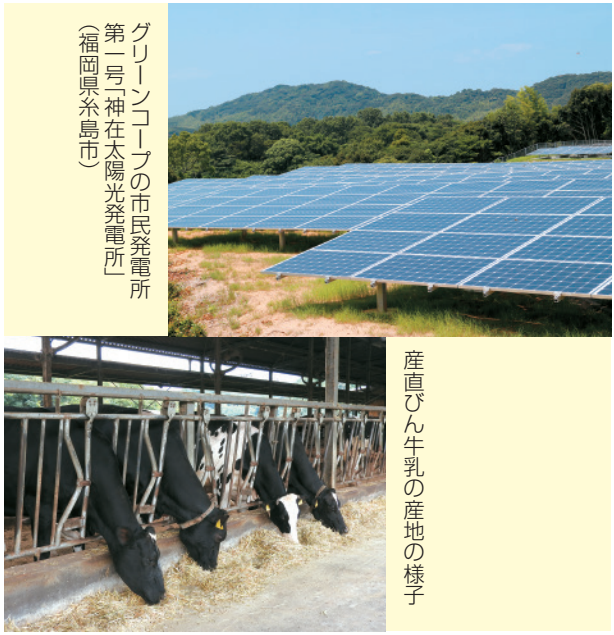
※2021年度活動報告(貸借対照表・損益計算書)は、ホームページに掲載しています。

日本の農畜産業を守り、安全で安心な食へもの生産を維持・拡大していくために、産直生産者の競争力を強くして、生産者と組合員が利益を分かち合えるよう取り組んでいます。

外国産の食へものが輸送によって二酸化炭素を多く発生させることに対して、国産の食へものを食べることは、日本の農畜水産業と環境を守ることに繋がります。外国産の食へものを食べます。

グリーンコープの牛乳の原料である牛乳の生産者・酪農家と「真の産直関係」をつくっていきます。

グリーンコープの前身生協は「成分無調整」の牛乳の共同飲用を開始して以降、現在の「びん牛乳」に至るまでの間に、酪農家を指定して産直関係をつくってきました。しかし、酪農業界のルールによって、酪農



「ひとりひとりが国家の主人公になっていくことが、国家が持つ恐ろしさを取り除いていく道です。」

グリーンコープも組織という意味では国家と同じで組織の素晴らしいしさを保持していると同時に、組織の恐ろしさを出すことがあり得る存在です。私たちがグリーンコープが組織であることを承知した上で、グリーンコープの主人公はひとりひとりの人間であり、「組織」であることを実践しています。「平和」を絶対にする人間集団として発展することによって、戦争がなくなっていくことを目指したいと考えています。

「あなたたちは、自分の子どもたちを何よりも愛していると信じている。実際には子どもたちの未来を奪っているのだ。」

(2018年6月 COP24)

「人々は苦しんでいます。人々は死んでいます。生態系は崩壊しつつあります。私たちは、大量絶滅の始まりにいます。あなた方は話すことは、お金のことや、永遠に続く経

前身生協の誕生から50余年、グリーンコープ誕生から35年のグリーンコープ運動の集大成として、「2027カーボンニュートラル」に取り組みます。

グリーンコープは、「自然と人の共生(みどりの地球をみどりのまま子どもたちに)という言葉に代表されるように、環境を守ることを原点の一つとして、前身生協の時代から一貫して

とグリーンコープとで、地域の自然を守り、酪農家が生き、生活する地域を豊かに再生することを基本に、関係をつくっていきます。

農産物の産直関係も「真の産直」に組み換えていくことに取り組んでいます。

生産者と協力・協同して、生産性の高い農業をつくっていくことに取り組んでいます。生産者が資本を投資し、組合員の利用によって投資を回収し、最終、生産性の高い農畜産業を実現し、産直生産者の競争力を強くして、生産者と組合員が利益を分かち合えるようにすることを目指しています。

「人と人との共生」「地域の再生」「誰もが住み慣れた地域で最期まで自分らしく、自分の持っている力を生かして生きていける。地域づくり」に取り組んでいます。

グリーンコープの地域福祉は、1992年当時の理事長を中心とした検討によってまとめられた「夢ヲかたち」から誕生した「夢ヲかたち」から誕生した福祉ワーカーズは、「将来未知のものに対する遠大な希望」と「こころさし」、つまり「大志」を持って27年間、歩んできています。

「夢ヲかたち」から誕生した福祉ワーカーズは、「将来未知のものに対する遠大な希望」と「こころさし」、つまり「大志」を持って27年間、歩んできています。

「夢ヲかたち」から誕生した福祉ワーカーズは、「将来未知のものに対する遠大な希望」と「こころさし」、つまり「大志」を持って27年間、歩んできています。

「2027カーボンニュートラル」の運動によって、グリーンコープが願っていること、②その願いの実現に向けて取り組んでいること、③ひとりひとりが出来ることを共に助け合って取り組むことによって願いを実現出来ることを伝え、

「2027カーボンニュートラル」の計画を策定、宣言、実践します。

各グリーンコープ生協、グリーンコープ連合会、グリーンコープ共同体におけるカーボンニュートラルを2027年までに実現していきます。

各グリーンコープ生協とグリーンコープ連合会の「カーボンニュートラル」の計画を策定、宣言、実践します。

種別	CO ₂ 排出量(トン)
電気(エネルギー起源)	7,600トン
ガソリン	4,200トン
軽油	600トン
都市ガス	15トン
LPGガス	520トン
灯油	10トン
ドライアイス	1,700トン
合計	14,645トン

多くの人の共感を得ること、一緒に「カーボンニュートラル」に参加する仲間・組合員を増やし、「環境を守る」「みどりの地球を守る」「全ての生命(いのち)を守る」という願いを実現していきます。

グリーンコープでんきは「原発フリー」の電気から始まり、現在、太陽光や地熱、小水力などの「再生可能エネルギー」と、組合員の家庭の太陽光発電がFIT(固定価格買取制度)売電を終えた電気(卒FIT電気)で構成しています。

グリーンコープでんきは「原発フリー」の電気から始まり、現在、太陽光や地熱、小水力などの「再生可能エネルギー」と、組合員の家庭の太陽光発電がFIT(固定価格買取制度)売電を終えた電気(卒FIT電気)で構成しています。

グリーンコープでんきは「原発フリー」の電気から始まり、現在、太陽光や地熱、小水力などの「再生可能エネルギー」と、組合員の家庭の太陽光発電がFIT(固定価格買取制度)売電を終えた電気(卒FIT電気)で構成しています。

グリーンコープでんきは「原発フリー」の電気から始まり、現在、太陽光や地熱、小水力などの「再生可能エネルギー」と、組合員の家庭の太陽光発電がFIT(固定価格買取制度)売電を終えた電気(卒FIT電気)で構成しています。

二酸化炭素を排出しないグリーンコープでんきを「実現し、強化する」と、「脱原発」と「再生可能エネルギー」を増やしていくことを目指します。

グリーンコープでんきは「原発フリー」の電気から始まり、現在、太陽光や地熱、小水力などの「再生可能エネルギー」と、組合員の家庭の太陽光発電がFIT(固定価格買取制度)売電を終えた電気(卒FIT電気)で構成しています。

グリーンコープでんきは「原発フリー」の電気から始まり、現在、太陽光や地熱、小水力などの「再生可能エネルギー」と、組合員の家庭の太陽光発電がFIT(固定価格買取制度)売電を終えた電気(卒FIT電気)で構成しています。

種別	CO ₂ 排出量(トン)
電気(エネルギー起源)	7,600トン
ガソリン	4,200トン
軽油	600トン
都市ガス	15トン
LPGガス	520トン
灯油	10トン
ドライアイス	1,700トン
合計	14,645トン

一般社団法人グリーンコープ共同体第五期定時社員総会の2021年度決算報告(貸借対照表・損益計算書)は、ホームページに掲載しています。





共同体 組織委員会

「せっけん」「環境」「平和」「アジアとの連携」について、各生協の様子を共有し、学習会の開催や意見交換を大切にすすめました

「せっけん」について 年間をとおして 取り組みました

7月と11月に「シャボン玉月間」に取り組みました。カタログGR E N31号では「わたしの、くらしに。わたしの、せっけん」と題して、せっけんを利用することがSDGsにつながることをアピールしました。特集ページには、委員や家族がせっけんを使用している写真を掲載してせっけんを身近に感じてもらう、生活

共同体 福祉委員会

コロナ禍で制限された環境のもと、工夫を重ねながらグリーンコープの福祉について理解を深めるために学習し、各生協の情報共有や意見交換もしました

「住んでる街を地域福祉の原点を学んで」

年間を通して8回の内部学習会を行いました。グリーンコープの福祉の歩みの学習では、福祉的な面で女性が担う負担が大きかった時代に、将来を見据えた助け合いシステムを生協で実現しようと、先輩組合員たちが「第一次夢ヲかたちに」のマスタープランを作った経緯を知りました。その実現に向けて「参加型地域福祉」の財源となる「福



「環境」「脱原発」について考え、各生協の取り組みを支えました

「環境」の取り組みでは、使い捨てトレーからリサイクルトレーに変更したことをアピールするため、利用した後はトレーをきれいに洗って返すことさらに循環していくことを、お餃子(徳用)のリニューアルと冷凍産直豚の生水餃子の新登場に合わ

共同体 福祉委員会

「環境」「脱原発」について考え、各生協の取り組みを支えました

「環境」の取り組みでは、使い捨てトレーからリサイクルトレーに変更したことをアピールするため、利用した後はトレーをきれいに洗って返すことさらに循環していくことを、お餃子(徳用)のリニューアルと冷凍産直豚の生水餃子の新登場に合わ



「平和のつどい」で折鶴を奉納した様子

組合員に自信をもつて伝える語り口を得ることができました。「共生・平和長崎自転車隊」について内部学習会を行いました。無名舎、こどもの家の活動についての聞き、自転車の取り組みが20年以上も継続できているのは、走る人、それを支える人、応援する人みんなの力の結集であることがあらためて感じることができました。



グリーンコープの地域福祉の「誰もが安心して心豊かに暮らせる地域づくり」を学びました。

「共生・平和長崎自転車隊」は2021年度も中止となりましたが、自転車隊の意義や目的を次につないでいく取り組みとして、「平和のつどい」をオンラインで開催しました。多くの方と平和への思いを共有することができました。

福祉委員長会で語り合い各生協での活動に活かしました

「福祉委員長会」と題し、委員会メンバーが各生協での福祉の伝え方、委員不足の解消法、委員会運営のアイデアや成功談など、何でも話せる時間としました。各生協の状況は違いますが、疑問や悩みを一緒に考え共有することで、福祉への思いをたくさん語り合うことができました。

「共生・平和長崎自転車隊」は2021年度も中止となりましたが、自転車隊の意義や目的を次につないでいく取り組みとして、「平和のつどい」をオンラインで開催しました。多くの方と平和への思いを共有することができました。

福祉委員長会で語り合い各生協での活動に活かしました

「福祉委員長会」と題し、委員会メンバーが各生協での福祉の伝え方、委員不足の解消法、委員会運営のアイデアや成功談など、何でも話せる時間としました。各生協の状況は違いますが、疑問や悩みを一緒に考え共有することで、福祉への思いをたくさん語り合うことができました。

「共生・平和長崎自転車隊」は2021年度も中止となりましたが、自転車隊の意義や目的を次につないでいく取り組みとして、「平和のつどい」をオンラインで開催しました。多くの方と平和への思いを共有することができました。

福祉委員長会で語り合い各生協での活動に活かしました

「福祉委員長会」と題し、委員会メンバーが各生協での福祉の伝え方、委員不足の解消法、委員会運営のアイデアや成功談など、何でも話せる時間としました。各生協の状況は違いますが、疑問や悩みを一緒に考え共有することで、福祉への思いをたくさん語り合うことができました。

共同体社員からの報告 一般社団法人グリーンコープ・ワーカーズ・コレクティブ連合会

グリーンコープからの自立をすすめています

2021年度は、四つの指針をもとに取り組みました。

共同体社員からの報告 社会福祉法人グリーンコープ

社会福祉法人グリーンコープ、そこで働く福祉ワーカーズを、組合員にとつてさらに身近な存在に



社会福祉法人グリーンコープ理事長 三原 幸子さん

新型コロナウイルスの終息の目途が立たない中、福祉の現場では、自身や家族の健康の心配をしながらも、福祉ワーカーズのみなさんがグリーンコープの福祉を守り抜いてくださっています。

2021年度は社福全体の経理、事業について整理が行われました

各事業の経営のために本部に発生している費用について、すべての事業所が事業高に応じて負担していくように見直ししました。

「福祉」に真剣に取り組み「社福グリーンコープ」をアピールして欲しい



社会福祉法人グリーンコープ専務理事 野 秀子さん

在宅支援20年の歴史を「事例集」としてまとめました。支援の様子についてありありとご理解いただけると思います。社福の現場で働く私たちは、在宅に限らず地域生活も保育園も、皆同じ

業本部が所管していた「リースター」と、「リポート」、「ワーク」の事業は、専門性の強い事業であるためグリーンコープの理念が生かされにくい環境で、しかし、責任者の退職に伴い見直しを、新たにスタートすることにしました。「ホームスタート(訪問型子育て支援)」については、外部の団体と連携して運営をしていますが、一旦整理して今後は、よりグリーンコープらしさを発揮できる運営をめざしていきます。

子どもやみんなの「居場所づくり」の検討が各県ですすんでいます

「夢ヲかたちに」理事會が各府県ですすめられ、その中で多く検討されているのが子どもやみんなの「居場所づくり」です。社福では、「居場所づくり委員会」を立ち

く目の前の相談者や利用者者の幸せのために、現場で一心に汗を流しています。ですから、社福でお仕事、お疲れ様ですと仰るだけでなく、「カッコイイ」「素敵な仕事をされていますね」と声をかけてください。勇気百倍になります。社福の仕事は日々、目の前の利用者さ

組合員とワーカーズが協力して夢を叶えていきましょう！

ち上げて子どもの居場所のすすめ方などの検討をしています。今後は、研修や交流会の開催も考えています。子どもは居場所、子育てサポートワーカーズがある県はワーカーズが担い、ない府県は今後子育てサポートワーカーズの立ち上げを検討します。居場所づくりには必要な経費に関して、グリーンコープ子ども基金)や「福祉活動組合員基金」を利用することもできます。現在、福祉活動組合員基金がない県も、今後立ち上げる検討をすすめることが増えています。

組合員とワーカーズが協力して夢を叶えていきましょう！

ち上げて子どもの居場所のすすめ方などの検討をしています。今後は、研修や交流会の開催も考えています。子どもは居場所、子育てサポートワーカーズがある県はワーカーズが担い、ない府県は今後子育てサポートワーカーズの立ち上げを検討します。居場所づくりには必要な経費に関して、グリーンコープ子ども基金)や「福祉活動組合員基金」を利用することもできます。現在、福祉活動組合員基金がない県も、今後立ち上げる検討をすすめることが増えています。

の幸せをちよつと増やすことができます。相談を受けて、支援して前より笑顔が増えるのを見ることのできるのです。カッコイイと思います。グリーンコープが福祉に真剣に取り組んでいることを、安心・安全でおいしい食べものやカーボンニュートラルと同じくらいの声の大きさを皆さんの口から、胸を張って

2022年度活動方針

世界規模の気候変動危機が、地球の生命(いのち)を脅かしています。

共生「みどりの地球をみどりのままで」「自然と人とのいのちの実現に向けて、環境を守る取り組みと行動に取り組んでいきます。

- 一、組合員・グリーンコープ運動の仲間を増やします。
二、労働協同組合ワーカーズを組合員と連携するグリーンコープの主体と位置付け、労働協同組合のワーカーを増やします。
三、脱原発社会の実現を目指し、私たちに出来る実践を最大限に取り組みます。
四、生命(いのち)を守り育む「食べもの」を食べて、安心・安全な「食べもの」を守り、より良く育てていきます。
五、「第二地域(生協地域、連帯地域、協同地域、共生地域)」を創り、地域を再生します。
六、四つの共生の願いに基づき取り組みをすすめます。
七、グリーンコープ生協(グリーンコープ連合会とグリーンコープ生協)の経営を一層強化します。
八、各委員会の方針は次の通りです。
(一)組織委員会
(1)せっけんについて年間をとおして取り組んでいきます。
(2)環境問題について考え、単協の活動を支援していきます。

2022年度 共同体理事会メンバー



2022年度 共同体理事会メンバー

- 一、組合員・グリーンコープ運動の仲間を増やします。
二、労働協同組合ワーカーズを組合員と連携するグリーンコープの主体と位置付け、労働協同組合のワーカーを増やします。
三、脱原発社会の実現を目指し、私たちに出来る実践を最大限に取り組みます。
四、生命(いのち)を守り育む「食べもの」を食べて、安心・安全な「食べもの」を守り、より良く育てていきます。
五、「第二地域(生協地域、連帯地域、協同地域、共生地域)」を創り、地域を再生します。
六、四つの共生の願いに基づき取り組みをすすめます。
七、グリーンコープ生協(グリーンコープ連合会とグリーンコープ生協)の経営を一層強化します。
八、各委員会の方針は次の通りです。
(一)組織委員会
(1)せっけんについて年間をとおして取り組んでいきます。
(2)環境問題について考え、単協の活動を支援していきます。

- 一、組合員・グリーンコープ運動の仲間を増やします。
二、労働協同組合ワーカーズを組合員と連携するグリーンコープの主体と位置付け、労働協同組合のワーカーを増やします。
三、脱原発社会の実現を目指し、私たちに出来る実践を最大限に取り組みます。
四、生命(いのち)を守り育む「食べもの」を食べて、安心・安全な「食べもの」を守り、より良く育てていきます。
五、「第二地域(生協地域、連帯地域、協同地域、共生地域)」を創り、地域を再生します。
六、四つの共生の願いに基づき取り組みをすすめます。
七、グリーンコープ生協(グリーンコープ連合会とグリーンコープ生協)の経営を一層強化します。
八、各委員会の方針は次の通りです。
(二)福祉委員会
(1)グリーンコープの福祉について、オールグリーンコープで学び、単協の取り組みを活かします。
(2)単協の地域福祉の取り組みがより活性化していくために情報や課題を共有し、相談・協議します。
(3)単協の相談・協議の中で、地域福祉の取り組みを豊かにしていくために視察研修・学習会を行います。



一般社団法人
グリーンコープ・ワーカーズ・
コレクティブ連合会
理事
水摩 静香

単協の生協加入から、かれこれ40年になります。その当時の理事長が牛乳を持って自宅に来られ、20歳半ば新米ママの私は、熱く語られるその言葉に感動し加入しました。

それからの私の人生、生協活動抜きには語れないようになりました。世の中には、多様な価値観、種や仕掛けがあることを知りました。

一番の宝物は、多くの人に出会えた事です。

班分け合いは、共同保育の場で子育て仲間がたくさんできました。代理人ネットワーク運動では、仲間と思いを地域に語りかけました。

そして、参加型地域福祉を目指しワーカーズになり、住んでる地域にふくしセンターを開設し、私達の夢がかたちになりました。

さあもうひと頑張り、仲間と共に次の夢に向かい歩んでいきます。

共同体第五期定時社員総会スローガン

組合員の願いを実現していく存在として生き続けていくために、「グリーンコープ運動」を力強く推進し、「グリーンコープ運動」に参加する仲間を増やしていきましょう。

全国各地で発生している自然災害で被災された方々に向けて、また新型コロナウイルスで生活に支障が起きている方々に向けて、生命(いのち)に寄り添ったグリーンコープらしい支援活動を継続していきましょう。

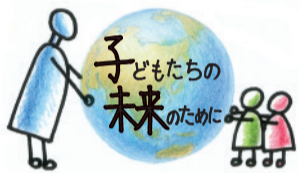
ワーカーズ型生協とワーカーズ型社会福祉法人に飛躍し、地域と共生するグリーンコープになりましょう。そのために組合員・活動組合員、ワーカーズ・ワーカーを増やし、地域と現場の活力を推進力に、グリーンコープを強化しましょう。

原発、遺伝子組み換えなどの社会的な問題に、生命(いのち)を根幹にすえて、市民とその連帯が主体となって、できることから解決していきましょう。

民衆交易や互恵のためのアジア民衆基金などの取り組みをとおして連帯・交流することで、「南と北」「北と北」の共生・連帯をさらにすすめていきましょう。

「地域理事会(夢フカたちに!理事会)」の検討をとおして、新しいグリーンコープ地域で生きている人間に合致したグリーンコープに変えていき、「グリーンコープの地域」を創りましょう。

みどりの地球をみどりのままで子どもたちに手渡す未来の創造のために、生命(いのち)を守るグリーンコープ運動の集大成として、組合員、ワーカーズ、職員が一丸となって、2027カーボンニュートラルを推進していきましょう。



No.167

原発でつくる電気はいらない

1986年のチェルノブイリ原発事故で「いのちと原発は共存できない」と知ってから25年後、東京電力福島第一原発事故が起こり、私たちは改めて原発の恐ろしさを経験し、「原発はいらない」という気運が高まりました。原発がなくても電力供給が可能と実証されましたが、その後じわりじわりと再稼働がすすみ、5月16日現在4基が稼働し、9基が定期検査中です。(原子力規制委員会HP)

なぜ原発を稼働させるのか。事故のリスクに加え、放射性廃棄物の再処理・中間貯蔵・最終処分の問題が何も解決できていないにも関わらず、CO2を出さないという名目で推進しようとするのか。それは生命や子どもたちの未来ではなく、目先の経済を優先しているからではないでしょうか。

原発に頼らず、火力も減らしていくには、再生可能エネルギーの割合を増やすと同時に、企業や家庭でのエネルギー対策も重要です。「グリーンコープでんき」を選ぶことで「原発でつくる電気はいらない」という意思表示をするとともに、暮らし方も見直していきましょう。

グリーンコープ共同体組織委員会

退任のご挨拶

「夢フカたちに」の願いに向かって常に前進していくグリーンコープを実感できた6年間



退任理事代表
熊野 千恵美さん

グリーンコープのびん牛乳に惹かれて組合員になりました。2013年

からひろしまの理事長となり、その3年目からは共同体・連合会の代表理事を兼任させていただき

商品開発も行われました。2020年には託送料金訴訟が始まりました。

2018年には、30周年のおまつりやイベントをとおして、グリーンコープ運動を広げることができました。各生協での

「みどりの地球をみどりのままで未来の子どもたちに手渡したい」という設立以来の願いに向かっていくと信じています。

ここ数年、気候危機とも言える状況が続き、地球の命が危ぶまれています。グリーンコープは、

注いで支援が行われていることを大変誇りに感じました。

動かれていることを知り、グリーンコープの総力を注いで支援が行われていることを大変誇りに感じました。

2020年には託送料金訴訟が始まりました。原発のない社会に向けてくために、組合員検討を経て訴訟に踏み切ることができた振り返ります。

2020年に「第二次『夢フカたちに』」が策定され、2021年からは、その具体化に向けて、各生協の地域理事会で検討が行われています。「子

どもの居場所」づくりなど、ワーカーズとともに、グリーンコープの地域づくりが進んでいます。子ども支援の取り組みを進めていくために「グリーンコープ子ども基金」を設立することもできました。

今後グリーンコープへの共感が広がり、仲間が増えて、グリーンコープ運動がさらに広がるよう、バトンを渡し引き継いでいきましょう。

これまで長い間ありがとうございました。

共同体第五期定時社員総会で選出された役員

理事 日高 容子 共同体代表理事 連合会会長 共済連合会会長 グリーンコープでんき会長 みやざき理事長 片岡 宏明 共同体専務理事 連合会専務理事 ひょうご専務理事 ふくおか専務理事 コークス調査研究所社長 西村 大輔 連合会専務理事 鹿毛 優子 共同組合員事務局長 連合会組合員事務局長 東原 晃一郎 共同体常務理事 ふくおか常務理事 井上 潔子 ワーカーズ・コレクティブ連合会 会長 加納 厚子 ワーカーズ・コレクティブ連合会 専務理事 池野 健治 共済連合会専務理事	小笠原 好人 グリーンコープでんき専務理事 武田 直美 ふくしま理事長 木村 和子 しがる理事長 篠原 佳奈子 おおさか理事長 清水 園子 ひょうご理事長 飯村 美智子 おかや理事長 林 美恵 とっとり理事長 中本 千帆子 (高根) 理事長 前津宗 八州恵 ひろしま理事長 小川 幸恵 さが理事長 島田 美砂子 (長崎) 理事長 三原 幸子 社協グリーンコープ理事長	三堀 明人 社協グリーンコープ専務理事 歌野 秀子 社協グリーンコープ専務理事 松本 あいら 社協グリーンコープ やまぐち経営委員会委員長 坂本 寛子 社協グリーンコープ 福岡理事理事長 小林 香織 社協グリーンコープ 熊本理事理事長 薬師寺 ひろみ 社協グリーンコープ おおいた地域福祉理事理事長 亀崎 恵理子 社協グリーンコープ 鹿児島理事理事長 舟木 由子 ワーカーズ・コレクティブ連合会 生協ワーカーズ委員会委員長 水摩 静香 ワーカーズ・コレクティブ連合会 福祉ワーカーズ委員会委員長	吉見 やよい ワーカーズ・コレクティブ連合会 共済ワーカーズ委員会委員長 高橋 雅子 共同体組織委員会委員長 中本 瑞樹 共同体福祉委員会委員長 大谷 昌己 共同体常務理事 監事 前田 いずみ おおさか 久保 かおり やまぐち 牧田 聡子 さが 南 栄作 くまもと 和田 和明 かごしま 退任した役員 退任理事 熊野 千恵美 ひろしま	吉田 由佳 (高根) 佐々木 春代 やまぐち 柳川 晶子 さが 高濱 千夏 くまもと 金子 蒼支江 共同体組織委員会 江戸 良子 ワーカーズ・コレクティブ連合会 小笠原 尚隆 共済連合会 退任監事 河元 圭子 ひろしま 溝口 真理 ふくおか 萩原 潤 おおいた 生協名は一部省略しました
---	--	--	---	---



グリーンコープ・グリーン電力出資金
11,128人 1,097,467,000円 (2022年6月13日現在)

「原発の電気ではなく、自然エネルギーでつくった電気を使いたい」という願いをかなえるために、グリーンコープグリーン電力出資金に協力しましょう

2022年4月の売電 神在太陽光発電所売電 128,780kWh 定格出力1,057kW(309世帯相当) 平池水上太陽光発電所売電 164,176kWh 定格出力1,260kW(368世帯相当) 深年太陽光発電所売電 160,385kWh 定格出力1,550kW(453世帯相当)	グリーン未来ソーラー売電 42,404kWh 定格出力376kW(110世帯相当) 若宮物流センター太陽光発電所売電 5,786kWh 定格出力47kW(14世帯相当) 広島物流センター太陽光発電所売電 5,793kWh 定格出力47kW(14世帯相当) グリーンコープやまぐち生協 西部地域本部太陽光発電所売電 5,903kWh 定格出力54kW(16世帯相当)
--	---

2022年6月14日
一般社団法人グリーンコープ
福祉活動組合員基金連合会
第四期
社員総会

2022年6月14日、一般社団法人グリーンコープ福祉活動組合員基金連合会の第四期社員総会が開催され、すべての議案が賛成多数で可決されました。

2021年度活動報告
2021年10月12日開催の第4回理事会に、グリーンコープ共同団体行岡顧問より「総括」が提起され、11月開催の第5回理事会において確認されました。
(1)グリーンコープの全会員生協に「夢ヲかたちに！理事会」という名で「地域理事会」が誕生し、組合員の生命運動(活動)は産別(生協、社福、グリーンコープ)でんきな(を所有しつつ、構造的に地域に根ざし始めて

います。
(2)その対関係に、グリーンコープの産別の成長・強化が進展しています。
(3)加えて、グリーンコープ総体としての大きな成長と前進が展開する中で、「第二の主体」としてのワーカースも、着実に成長と前進を続けています。
(4)さらに、「第三の主体」としての職員も、専務理事を先頭に、その主体形成の準備が始まっています。
(5)これまでは基金連合会理事会で検討することにしてきた案件はすべて、共

同体理事会に移管し、基金連合会理事会としての決議が必要な案件に限って、基金連合会理事会を開催することとします。
2021年度決算報告
2021年度方針として「理事会の開催費用などの事務局費用は、極力発生させないようにします。」と確認した範囲です。
2022年度活動方針
(1)2019年11月12日開催の設立総会において確認した「事業計画などの策

定の進め方について」の進め方で進めます。
(2)2022年度は、定期的な理事会を開催(定款の定めは年4回)し、「当法人の融資を活用して」地域福祉の増進を図る」上で必要な「社員の要請」について、社員の状況を共有するようにします。
(3)その上で、事業計画は理事会で検討・策定し、社員総会に提案します。
(4)なお、理事会の開催費用などの事務局費用は、極力発生させないようにします。

2022年6月14日
一般社団法人グリーンコープ
子ども基金
第二期
社員総会

2022年6月14日、一般社団法人グリーンコープ子ども基金の第二期社員総会が開催され、すべての議案が賛成多数で可決されました。

2021年度活動報告

社会福祉法人グリーンコープにおいて検討されている「グリーンコープ」の「子どもの居場所」のすすめ方で提案されている「子どもの居場所」の経営、財政支援の内容(「子ども基金」の活用)について(一社)子ども基金理事会として討

議し、確認しました。
その後、社会福祉法人グリーンコープにおいて「居場所づくり委員会」が設置されました。グリーンコープ生協ふくおかとグリーンコープ生協くまもとでは「日本財団「子ども第三の居場所」事業」の助成金を受けて、子どもの居場所づくりも始まっています。現在、グリーンコープが直接運営する「子どもの居場所」は14カ所です。今後、「子ども基金」が活用されて、グリーンコープの中に「子どもの居場所」や子どもたちを支援する取り組みが活性化していくと考えられます。

財政の強化に向けて、随時のカンパや会員制(年会費や月会費)の仕組みづくり、グリーンコープの取引先や一般の個人・団体等からの寄付の受付の仕組みなどを検討しました。また、会員生協において財政の強化に取り組む場合(例えば、カタログ回収を増やす呼び

かけに取り組む等)の財政の集約と活用について、検討しました。
オールグリーンコープ全体への報告を通して多くの組合員がグリーンコープの子ども支援の取り組みの主体となっていくと考えます。そうして財政をつくることへの参加が増え、財政の強化につながります。したがって、「会員生協が財政の強化に取り組んで増えた分は、その会員生協が管理して使う」との申し合わせはせずに、オールグリーンコープとして、子どもを支援するための財政とその活動を集約することによって、「子ども基金」の財政にして、活

用していきます。
フードサポートの取り組みでは、グリーンコープが直接運営する「子どもの居場所」(14カ所)、生活困窮者自立支援事業を通しての支援(18カ所)、グリーンコープが運営に参加する「子どもの居場所」(1カ所)、地域の様々な団体・組織が取り組む「子どもの居場所」(57カ所)、学校の取り組みへの支援(21カ所)へ、広く食料を支援しています。

グリーンコープ子ども基金 第二期社員総会議案採決の結果

社員数16人(議長を除く)	賛成	反対	保留
第一号議案 2021年度活動報告及び決算報告承認の件	14	0	0
第二号議案 2022年度活動方針及び予算承認の件	14	0	0
第三号議案 役員(理事・監事)補充選任の件	14	0	0
第四号議案 議案決議効力発生件	14	0	0

(表1) 2021年度決算報告

2021年度決算報告		
収入	菓子パン基金 (2021年9月~2022年2月)	2,285,334円
	グリーンコープ共済連助成金	1,200,000円
	抱樞館を支える会寄付	10,000,000円
	グリーンコープ共同団体支援金 (2020年度預り分)	11,873,840円
	3月共同団体支援金(古紙販売分)	17,542,244円
	各会員生協福祉活動組合員基金助成金	17,700,000円
	赤い羽根基金寄付	60,000円
	収入合計	60,661,418円
支出	フードサポート食材費	9,670,730円
	古紙回収・販売に関する諸経費 (車両費、燃料費、交通費など)	8,251,358円
	その他(初年度法人登記費用など)	522,503円
	支出合計	18,444,591円
	受取利息	83円
	2021年度収支残高	42,216,910円

(表2) 2022年度収入計画

2022年度収入計画	備考
2021年度繰越金	42,216千円
パン課金カンパ	4,960千円 月平均413千円×12カ月
カタログ回収収支①	12,600千円 GCふくおか分2021実績
カタログ回収収支②	7,740千円 GCふくおか他分2021予測実績
単協共済手数料	3,900千円 2021年度計画
共済連助成金	1,200千円 2021年度実績
抱樞館を支える会	10,000千円 2021年度実績
取引先寄付	100千円 (株)エムシーサービス様
収入計画合計	82,716千円

グリーンコープ福祉活動組合員基金連合会 第四期社員総会議案採決の結果

社員数10人(議長を除く)	賛成	反対	保留
第一号議案 2021年度活動報告、決算報告承認の件	10	0	0
第二号議案 2022年度活動方針、事業計画決定の件	10	0	0
第三号議案 役員(理事・監事)補充・選任の件	10	0	0
第四号議案 議案決議効力発生件	10	0	0

2022年5月の組合員数 433890人 (5/20現在)

リユース、リサイクルデータ 2022年4月分(回収率)	
牛乳びん 回収率 99.2%	トレー 回収率 35.5%
リユースびん 回収率 52.6%	仕分け袋 回収率 12.8%
モールドバック 回収率 95.9%	カタログ 回収率 67.0%

フードマイレージ
2022年5月に組合員の利用によってたまったのは
7,818,331.7ポコ
CO2に換算して782トン削減したことになります
2009年9月からの累計は、954,625,301.2ポコ

アジア民衆基金
2022年5月に組合員の利用によってたまったのは
541,289円
2009年4月からの累計は、89,839,482円

投稿募集中
● 250字程度
● 月毎月末
● 住所氏名・年齢・TEL
● 所属生協名を明記して郵送またはFAX・Eメール
● でお送りください。掲載分にはグリーン券(グリーンコープ商品の購入に利用できます)500円分を進呈します。
● 住所氏名などの組合員の個人情報(本紙に掲載の場合のみ)は、本紙に掲載の個人情報は、本紙に掲載の場合のみ使用します。

〒812-8566
福岡市博多区博多駅前3丁目5番11号
グリーンコープ福岡(株)事務局
〒812-8566
福岡市博多区博多駅前3丁目5番11号
グリーンコープ福岡(株)事務局

〒812-8566
福岡市博多区博多駅前3丁目5番11号
グリーンコープ福岡(株)事務局

カタログGREEN4号チラシで呼びかけた「チェルノブイリ支援のための募金」にご協力ありがとうございました。

組合員から寄せられたカンパ金総額
9,112,000円

「NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク」を通じて、チェルノブイリ(チェルノブイリ)原発事故の被災地への専門家派遣や医療器材の購入などに充てられます。また、チェルノブイリ原発事故の経験や専門家とのネットワークを福島への支援につなげ、福島での現地調査や被災者のケアにも活用されます。

2022年度は、以下のようにカンパ金の活用を検討されています。
①ベラルーシ共和国プレスト州立内分泌診療所内移動検診チームへ

- ・移動検診用超音波検査診断装置(エコー)2台
- ・エコー写真機2台、その他提供
- ②チェルノブイリ通信発行
- ③福島訪問、現地調査
- ④ベラルーシ共和国医療関係者及び甲状腺がん患者の招聘費用
- ⑤薬野協立病院に甲状腺がん検査者に対する補助
- ⑥グリーンコープオンライン講演会の木村真三先生の講演料その他

2022年3月25日開催 ATPF会長ノルマさんとネグロスの生産者とのオンライン交流会報告

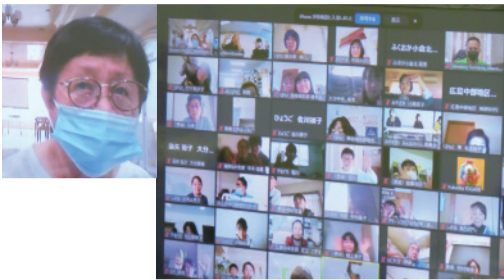
17 パートナーシップで目標を達成しよう



*** ATPF** フィリピン・ネグロス島の小規模農
 民たちが農業に誇りと権利を持って自立し、持続可能な生活が送れるような地域をめざし、生産者を支援する団体。

（食料主権のための
 オルター・トレード・
 フィリピン財団）

ノルマさんと組合員が画面越しに交流を深めました



グリーンコープ共同代表理事(当時)の熊野千恵美さんは冒頭、「グリーンコープに集う私たちにとって、ネ

グロス島の皆さんは身近な存在です。台風で被害にあわれた皆さんが、今後について悲観されてい

「グリーンコープの精神で助け合ったことで、伝統的な地域のつながりや仲間との団結が深まりました。グリーンコープの支援に改めて感謝を伝えたい。これからもたくさん頑張ってください。皆さんに届けたい。待つ

現地の被害状況と支援の様子

2021年12月中旬にフィリピンを直撃した台風によって、産直民衆交易(ネグロス)バナナの生産者、有機サトウキビ(マスコバド糖)の生産者が深刻な被害を受けました。グリーンコープは、復興に向けて組合員にカンパを募り、被災した産地へ届けました。

台風被害から3ヵ月後、産地での復興支援を担うATPFの会長ノルマ・ムガルさんや生産者の方々と、組合員約110人がオンラインで交流しました。フィリピンの生産者よりグリーンコープの支援に対して感謝の思いが伝えられました。お互いのつながりを改めて実感することができた交流会となりました。

「バヤニハン」の力で助け合い復興に向かっていきます

フィリピンの人々が古くから大切にしている概念の一つ。「互いに助け合い、支え合う」という意味を持ちます。

緊急支援として1,536家族にお米10kgを支給し、264軒へ壊れた家を修繕するための資材を提供しました。バナナ農場を復興するため倒れたバナナの木などを片付けて苗を植える支援では、豊かな土壌にするために苗1本につき3kgの有機鶏糞肥料を施しています。

「バヤニハン」の仲間に入り助け合っていることが嬉しい。再びおいしいバナナが届くのを楽しみにしています」とエールを贈りました。



緊急支援として1家族につき10kgのお米を配布

民衆交易に関わる「バヤニハン」の思い

バナナ生産者からは、「バヤニハン」の精神で助け合ったことで、伝統的な地域のつながりや仲間との団結が深まりました。グリーンコープの支援に改めて感謝を伝えたい。これからもたくさん頑張ってください。皆さんに届けたい。待つ

ノルマさんは「被災者と支援者を超えた人と人との関係を民衆交易を通じてつくり上げてきたことを証明し、皆が思いを共有して歩んでいることを強く感じた交流会でした。コロナ禍で直接交流ができませんでしたが、私たち生産者と消費者の皆さんはつながっています。私は、人々をつなぎ食べることで健康と幸せを運ぶバナナとサトウキビに、ありがとうと言いたい。グリーンコープの皆さん、ありがとうございます」と話しました。



グリーンコープの友人のみなさんへ vol.15

Letter for Green Co-op April 27, 2022

家族の健康を守るため、隣人とつながり、協働を呼びかけていきます。

4月に入り、我が家の裏庭にはリンゴや梅、桜の花が咲き始めました。鳥たちの巣作りも始まっています。鳥のさえずりや緑の木々に包まれて静かに過ごすひとときをありがたく感じています。人類だけではなく、鳥や昆虫、木々のいのちをも守るため、自然界にとって有害な物質をなくすよう努力しているすべての人々に感謝します。

私たちの活動を支えて下さっているグリーンコープの組合員の皆さん、そして安全な食品を地域社会に提供するために働いて下さる職員や生産者の皆さん、いつもありがとうございます。

今月は、2つの新しいプログラムの立ち上げについてお知らせできることを嬉しく思っています。現在、資金を調達中ですが必ずや支援が得られると信じて、アメリカのみならず世界の食品業界に働きかけ、健康を守るための活動をさらに拡大したいと考えています。


すでにご存じかと思いますが、アメリカ政府は、遺伝子組み換え食品・種子・家畜については生産者が自己規制することを決定しました。生産者や食品業界の判断に任せることで、政府は十分な検査やラベル付け、規制を怠り、毒物を混入した食品の供給を見逃し続けています。アメリカ食品医薬品局(FDA)が見逃している健康リスクに、私たちが光を当てる最も効果的な方法のひとつは、食糧供給における毒物の実態を暴露することです。そこで私たちは、

毎月40品目を検査するために資金集めを開始しました。40という数字は、FDA、食品メーカー、メディアが無視できない、統計的に有意な数字です。たとえ規制当局が見て見ぬふりをしたとしても、このデータによって食品メーカーが変更を実施せざるを得なくなると私たちは信じています。なぜなら食品メーカーは、規制当局よりもはるかに消費者の判断に敏感だからです。そこで、学校給食、ポテト、米、ベビーフード、砂糖入りスナック菓子など、健康に大きく影響する必須食品40サンプルの検査に取り組むことにしました。アメリカ環境保護庁(EPA)がグリホサートの認可を更新するか取り消すかを決定するまで、あと半年しかないので、今すぐ追加テストが必要なのです。

2つ目のプログラムは、「隣人たちの食のネットワーク」です。このプログラムは、各地のマムズ・アクロス・アメリカのメンバーが呼びかけて、近所の人たちと一緒に、自分たちの地域で食の安全を確保するための戦略を立て、組織化するグループに参加する個人を募集しています。マムズ・アクロス・アメリカは、地元の生産者に安全な作物を確実に供給してもらうための協力と連携を、地域の人びとと一緒につくりたいと計画しています。このプログラムは、コロナ禍や自然災害など危機の有無にかかわらず、安全・平和で健康的な地域を創ることを目的としています。ある専門家によると、人はもし欠食が9回を超えると、家族を養うために暴力に訴えるように

ゼン ハニーカット
Zen Honeycutt さん

米国で遺伝子組み換え反対運動の中心となって活動するマムズ・アクロス・アメリカ (Moms Across America) の共同創設者、専務理事。



なる、という統計があるそうです。私たちは、隣人が脅威になることを望みません。調和をもって協力したいのです。皆が困難な時代に直面している今だからこそ、このプログラムは非常に重要です。

グリーンコープは、安心・安全な地元の食料を多くの組合員へ供給する素晴らしい仕事をされてきました。しかしアメリカはあまりにも大きすぎて、同じようなシステムを設定することは難しいのです。でも、グリーンコープの経験を学び、今こそ、私たちが一軒一軒、近所の人たちとつながり、協働を呼びかける時だと考えました。勇気は必要ですが、私たちには家族の安全に対する限りない愛と責任があります。今年から始まるこれらプログラムのめざすもの、活動経過は、多くの言語で発信していきたいと考えています。引き続き、マムズ・アクロス・アメリカのウェブサイトをご覧ください。毎月皆さまにお届けしているこのレターを含めて、多くの方々に情報を共有して下さることを願っています。

感謝をこめて

ゼン・ハニーカット
マムズ・アクロス・アメリカ
訳：大橋成子



マムズ・アクロス・アメリカのウェブサイトはこちらからご覧いただけます

カタログGREEN18号で
 (7月11日週配布)
 ゼンさんの著書を企画します
 18号でご注文ください

申込番号 **5619** **あきらめない UNSTOPPABLE**

※下記一覧表の結果の「検出せず」は、検出限界値を超えての検出はなかったことを表しています。

Table with columns: 番号, 商品分類, 商品名, 原料産地, 製造地, 製造日・収穫日等, 測定日, 検査法, ヨウ素-131 (結果, 検出限界値), セシウム-134 (結果, 検出限界値), セシウム-137 (結果, 検出限界値). Rows include various food items like fruits, dairy, and seafood.

※下記一覧表の結果の「検出せず」は、検出限界値を超えての検出はなかったことを表しています。

Table with 15 columns: 番号, 商品分類, 商品名, 原料産地, 製造地, 製造日・収穫日等, 測定日, 検査法, ヨウ素-131, セシウム-134, セシウム-137. Rows include various food items like 島原産めかぶ, ところてん, 網ごし豆腐, etc., with their respective production details and radiation test results.

